

# がん化学療法レジメン登録票

新規レジメン登録の際にはプロトコルの提出が必須です  
プロトコルがない場合は参考文献を提出してください

レジメン名	AMR
診療科名	呼吸器内科
診療科責任者名	金子 教宏
適応がん種	既治療再発NSCLC
保険適応外の使用	有 無

がん治療ワーキンググループ使用欄	
登録番号	NSCLC-39
登録日・更新日	2011年4月25日
削除日	
出典	カルセド添付文書
入力者	安室 修

投与順に記入(抗がん剤のみ)

	薬剤名	規格	投与量算出式	ルート	投与時間	施行日
No.1	カルセド	20, 50mg	40mg/m <sup>2</sup>	IV DIV IVHポート 側管 その他( )	5分	Day1-3
	生理食塩液	20mL				

1コースの期間	21-28日
投与間隔の短縮規定	短縮可能( 日) ・ 短縮不可能
計算後の投与量上限値	110%
計算後の投与量下限値	50%

記入者	安室 修
確認者	三沢 昌史

減量・中止基準	<p>初回投与時 WBC4000/ <math>\mu</math>L以上12000/ <math>\mu</math>L以下、Plt10万/ <math>\mu</math>L以上、Hb10g/dL以上 次コース以降の投与時 WBC3000/ <math>\mu</math>L以上、Plt10万/ <math>\mu</math>L以上 減量規定 投与後、WBC1000/ <math>\mu</math>L未満で、それが4日以上持続した場合、又はPltの最低値が5万/ <math>\mu</math>L未満の場合には、次コースの投与量を前コースよりも5mg/m<sup>2</sup>/日減量する。</p>
前投薬	
その他の注意事項	<p>・他のアントラサイクリン系薬剤等心毒性を有する薬剤による前治療が限界量(塩酸ダウノルビシンでは総投与量が体重当り25mg/kg、塩酸ドキソルビシンでは総投与量が体表面積当り500mg/m<sup>2</sup>、塩酸エビルピシンでは総投与量が体表面積当り900mg/m<sup>2</sup>、塩酸ピラルビシンでは総投与量が体表面積当り950mg/m<sup>2</sup>等)に達している患者に禁忌 ・LD、ED症例に適応</p>